



NO.1426

8月6日号

発行所

日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
四三二一四四五八  
F四三二一四四五七

# 議会報告と

# 共産党を知るつどい

日本共産党西後援会は「議会報告と共産党を知るつどい」を西コミセンで開きました。連日30℃を超えるような暑さの中、10人が集まりました。

村椿議員は始めに春の市議選のお礼を述べた後、6月議会について報告しました。

**市営住宅の修繕について**  
一般質問で取上げた市営住宅の修繕について、市は修繕件数は年間700件、その内の水道や下水道は200件以上あること。排水づまりの原因は住人が出す油汚れによる詰まりや、排水管の腐食による詰まりがある。

さらに、個人負担となるのは油汚れなどの場合で、市は修繕業者が撮影した写真を見て個人負担か市負担かを判断していること。それに対し、村椿議員は、住人に写真を見せて説明するように求めたことを報告しました。

今年、市が腐食した排水管を取り替える工事をした後は、よく流れるようになった。」と話していました。

村椿議員は腐食による排水管の調査を網走市に行うよう求めると話していました。

**団地内の除雪について**  
団地と物置の間の通路は地域の子ども達も入居者みんなが利用するところです。車を持つ人は駐車場を除雪すれば済みますが、無人は通路を通るのが普通です。市に通路の除雪をして

# 原水禁大会の募金活動

網走原水協は、原水爆禁止世界大会に向けた募金活動を行いました。気温30℃を超える厳しい暑さの中での募金活動となりました。

訪問した企業のみならず、厳しい経営環境の中にあっても「暑い中ご苦勞様、たいへんですね」と、快く募金の要請に応じていただきました。今年は、現地へ



村椿議員の話聞く参加者

欲しいとの声がありました。村椿議員は引き続き市が除雪をするよう求めると話していました。



# 松浦 奮闘モ。



日本の政治が大企業優先の政治をしていることが改めて証明され、それが改められて証明されることが、マイナンバーとマイナンバーカードの運用を担う「地方公共団体情報システム機構」(J-LIS)が、2013年度から10年間で、マイナンバー関連事業を少なくとも313件、2810億円超の発注をしてきたことが7月31日、しんぶん赤旗の調べで分かりました。それによると、このうち21年度、22年度の2年間で総額1660億円と発注が集中しています。

これらの事業は、少数の大企業が独占的に受注していて、マイナンバー関連事業に財界の意向が色濃く反映した実態が明らかになりました。最も多く受注しているのは、NTTグループでIT大手のエヌ・ティ・ティ・コミュニケーションで、受注額は982億円、2番手がマイナンバーカード用のICカード発行業務を複数回受注した印刷大手の凸版印刷の464億円などです。

大企業8社で契約金額の9割を占めていて、大企業に優しい岸田政権の姿が見えてきます。

# 村 奮闘



西コミセンのまつりが7月29日に開かれ、多くの市民が集まっています。西小の少年野球チームが紹介されました。子どもたちが元気に頑張っているのを見るのも、お年寄りの方々が地域の祭りに足を運んで楽しそうに話している様子は嬉しいですね。まつりで引き換えたジュースとお茶は飲み干すくらい暑い日でした。

# 流氷

ツバメは、馴染み深い鳥です。鳥の特徴を示すのに嘴から尾の先までの長さをL、



翼を広げた幅をWとしています。ツバメはL17cm W32cmです。道南では見かけますが、網走では見られませんが、網走ではショウドウツバメL13cm W28cm、イワツバメL15cm W30cmの2種類が飛来します。他に大型のアマツバメL20cm W43cm、ハリオアマツバメL21cm W50cmが見られます。▼小型のイワツバメは山地の岩場で繁殖しますが網走では橋などの人工物にも巣を作ります。ショウドウツバメは、火山灰の崖などに巣穴をほって繁殖します。呼人の火山灰の崖で見かけます。巣穴が小洞なので名づけられました。▼大型の2種は、アマツバメが海岸や高山の断崖の岩の隙間などに集団営巣をします。ハリオアマツバメは、柏やハルニレ、ダケカンバなどの樹洞に営巣します。鎌形をして滑空するツバメです。営巣以外は空中生活をしていきます。水も飛びながら飲みます。7月末には、網走の空で見かけます。

博物館友の会会員 小森